



6月28日(金)
6限目

中体連を 終えて...

今週、王名荒尾中体連がおりました。結果は様々で、目標を達成できた人、そうでなかった人とまちまちでしたが、おのおのが、持てる力を出し切ってくれたことと思います。すべての競技を応援に行き届けていただけました。本当にみなよく頑張っていました！

そんな中、印象に残ったのは、野球の森山君の姿でした。準決勝の玉中戦、点をとりぬきは追いつき、そのおとまたとられ、と競りあっている中で、劣勢になって気持ちがおちこんだ時でも「切りかえよう!」「まだまだこねかえろ!」とポジティブな声かけを続け、みんなを最後まであきらめず、盛りたててくれました。自分自身がおちこんで新しい時でも、です。生徒に以前、部活がおわって、自分に何か残るか?という話をしましたか。みな、



もそのひとつだと思いつ。将来、そうい落ちこぼれ場面は必ず経験し。そんな時、こういうメンタルを持てれば、状況は大きく変わると思いつ。ほかの人たちも、部活で辛抱や努力など、何らかの力を学んだと思いつ。そのことを忘れずに次のステップに歩んでください!!

今後の部活動移行について
昨年度、説明があつているとのことですが、確認でもう一度連絡しておきます。来年の中体連以降(今の1年生が新チームとして動き出すとき)から、土日の活動は外部コーチがいなければ活動できなくなります。つまりコーチがいなければ部活動は、土日の練習や試合参加等はできないということです。現在各部活動のコーチ等を探していますが、見通しは立っていません。保護者の知り合いの中で受け持っていた方がいれば紹介いただければと思います。我々学校側も、その後どのような形になるのかはわかっておりませんが、来年の中体連以降は学校の活動として土日の部活動ができなくなることは決まっているようです。お知りおきください。

言語環境をととのえる必要性...

先日、友だちを言葉で傷つけた出来事がありました。指導はしましたが、そこで感じた心配事が中学生が使う言葉がひどいことです。「うざい」、「きもい」、「消えろ」、「死ぬ、など」

文字で書くのも嫌ですが、生徒の中には日常で簡単に使っている人がいます。こんな言葉も、他の差別的な言葉をおびせられた人、おびせられなくても、それを気にしている人が聞いたと人な気持ちになるか、考えてほしいです。さらにも、と心配なことは、こういった言葉を相手に言うことが「ひどいことだと感じている」人も

いるということです。こうすると、中学校だけでその感覚を修正しようとしても、なかなか難しいです。と言うのも、こういった言葉を簡単にだす人は、(自分自身がそういう言葉をおび続けたのか味われないが...)感情がズレてしまっていて、その言葉を使うことに対して抵抗感がないからです。うまく例えられませんが、

たとえば、中指を立てるくさは、国によってはその行為をしたら射殺されてもおかしくないくらい相手を侮辱することですが、日本では、その行為にそんな抵抗感がないので、



そういうことをする人がいます。つまり、自分は何とも思っていない、無意識に人を傷つけたことをやっているのです。だから、そんなことがないように、差別用語にしても、その言葉がもっている意味、力、そして、自分だけでなく他の人に対して言っているのを聞いただけでもつらいと感じる人たちがいるということを、しっかりと理解してほしいと思いつ。学校でも指導してはいますが、各ご家庭でもご協力をお願いいたします!

返信ありがとうございます!!

いつも返信ありがとうございます!! 紙面が足りず、のせられてすみません!!
今回私達に対するご指摘もありがとうございます。今回上に書いたことは我々教員にも伝えることですので子どもたちへの接し方、言葉かけ、子どものおかれている背景など、しっかりと把握した上での指導を心掛けなければいけません。当然、私達の中にも至らない部分もあると思います。そのために、校内での研修や、私達同士で指摘しあうなど、日々成長する努力をしております。だからこそ、気にすることがありましたら、きた人のないご意見を頂けると、私達も気づけることができますし、ありがとうございます。

なお、返事はいたさない、連絡等もいたさない場合は匿名でもかまいません。学校外から見た四中の姿など、何でもいいです。返信よろしくお願ひし。返信QRです。



返信QRです。